

パーツリスト

- MI301/MI402 2本
- 1S1588 2本
- セラミック 0.01μF (403) 12本
- 抵抗 620Ω (MI301) または 240Ω (MI402) 1本 (1W)
- 0.6mmφ エナメル線 1.5m

直列形スイッチ回路

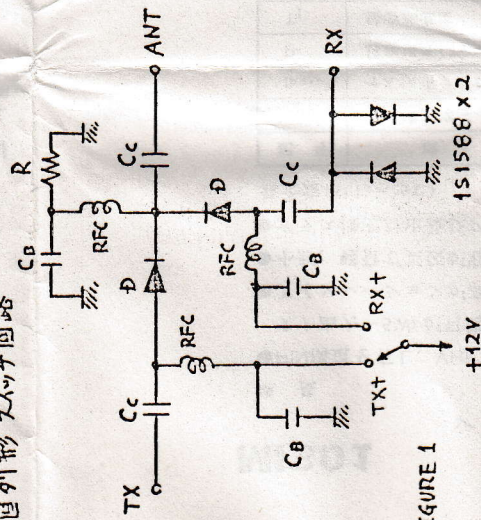


FIGURE 1

- Cb : 0.01 μF
- Cc : 0.01 μF を 3本並列に接続したものの

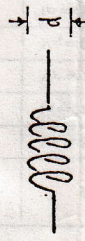


- D : MI301 または MI402
- R : 620Ω 1W (MI301)
- : 240Ω 1W (MI402)

★組み立てのコツについて...

回路は左下の図 (FIGURE 1) の通りです。この回路は基板用についてありますので、図の通りの部品配置にすれば簡単です。Cc は電力容量を大きくするため、3本並列にして下さい。RFC は各コイルの軸が重なるように配置します。

コイルテータ (RFC)



0.6mmφのエナメル線 (付属) をエニペツなどに巻きます (密巻)。

巻数	この巻数を標準として、SWRが高くとまは1~2回増やす。
30 ~ 50 MHz	17回
50 ~ 100 MHz	14回
100 ~ 200 MHz	10回
200 ~ 400 MHz	7回
400 MHz 以上	5回

マルチバンドで使用するときば、最低周波数に合わせてコイルを巻いて下さい。

★接続法

アンテナ切換えに使用するときば TX をアンテナ1, RX をアンテナ2, ANT をトランシーバーへ接続します。この場合は 1S1588 は必ず取りはずして下さい。トランシーバー等の送受切り換えのときは、ANT をアンテナ、TX を送信部、RX を受信部に接続します。

★使用法

TX+ に 12V を加えると TX と ANT が、RX+ に 12V を加えると RX と ANT が高周波的に接続されます。電源電圧 12V と 9V のときの端子間インピーダンス、D を TABLE 1 (12V), TABLE 2 (9V) に示します。

TYPICAL CHARACTERISTICS

- ↑ ISOLATION : TX TO RX
- ↑ TOTAL LOSS : TX TO ANT

TABLE 1 : FIGURE-1 (MI301/402)

FREQUENCY	ISOLATION	TOTAL LOSS
30 MHz	42/40 DB	0.8/0.3 DB
50 MHz	36/39 DB	0.8/0.3 DB
144 MHz	26/39 DB	0.8/0.3 DB
220 MHz	23/38 DB	1.0/0.4 DB
440 MHz	17/36 DB	1.5/0.5 DB

TABLE 2 : FIGURE-1 (MI301/402)

FREQUENCY	ISOLATION	TOTAL LOSS
50 MHz	36/27 DB	0.8/0.3 DB
144 MHz	31/33 DB	1.0/0.3 DB
220 MHz	28/31 DB	1.5/0.4 DB
440 MHz	25/24 DB	2.0/0.5 DB

MI301/402 RF SW Set テーカ-性能改善の為予告なく仕様を要する場合があります。

REVISED JULY 1981
PREPARED BY BERG LAB.

株式会社 亜土電子工業
東京都千代田区外神田3丁目10番7号
〒101 北総ビル
TEL (03) 253-8303 (代)